

病院の実力

*愛媛編 190

舌や顎修復 食事円滑に

形成外科

今回は形成外科を取り上げる。体の表面にできた傷や変形をきれいに治し、機能の回復も目指す。

一覧表は2022年の実績で、「主な形成外科手術」は外傷、先天異常、腫瘍、難治性潰瘍、瘢痕などの合計を示した。手術用顕微鏡を使って血管や神経などの繊細な組織をつなぎ合わせるマイクロサージャリーが用いられる手術も多い。

「外傷」は、けがややけどなどで、やけどが皮膚の深い部分に達した場合、皮膚やその下の組織を血行がある状態で移植する。口唇口蓋裂や耳の変形などの「先天異常」では、成長にあわせて手術を行う。

「腫瘍」は、ほくろや粉瘤などの良性腫瘍を取り除く手術が多い。皮膚などにできるがん「悪性腫瘍」の切除や、乳がんの手術で失われた乳房を元の状態に近付ける乳房再建も手がける。頭頸部がんでは、舌や顎を修復し、食事や会話が円滑にできるようにする。

そのほか、床ずれなど皮膚の深い所まで傷が及んだ「難治性潰瘍」や、傷痕がミミズ状に盛り上がるケロイドといった「瘢痕など」の治療にもあたる。

血管腫などのあざにはレーザー治療も用いる。皮膚科や、骨や関節などの機能改善を重視する整形とでは、社会復帰を助け、毎日快適に送ることにつながる。悩みを抱えこまず、相談してほしい。

医療機関名

主な形成外科手術 (件)	外傷 (件)	先天異常 (件)	腫瘍 (件)	悪性腫瘍 (件)
徳島県				
891	164	9	584	70
400	98	7	233	42
香川県				
980	47	160	698	13
253	41	7	150	15
愛媛県				
500	99	51	292	18
495	60	10	379	49
246	5	0	239	5
217	11	29	166	107
高知県				
662	228	22	172	31
570	182	12	203	36
454	110	5	125	16

「セ」はセンター。

全国の調査結果は20日の「安心の設計」面に掲載しました。